

あ と が き

大変遅くなりましたがNo.14をお届けします。前号の「あとがき」で、「本誌に気軽に投稿できる場を設けることになり、本号でそのはっきりした方針を示す」ことを述べました。改めて考えてみると、今迄でも投稿は自由であり、その旨を明確に表示をしておかなかったものの表紙の裏には毎号そのようなニュアンスの主旨書きが示してありました。現に過去においても投稿の例はいくつかありました。改めて方針などを示すことにはいささかの抵抗を感じるとともに、方針なり規則を明文化するには諸般の事情を考慮・検討することも必要になり、なかなか面倒なもので本号には間に合いませんでした。そうこうしている間に、本号に掲載しましたように桜井さんからの投稿原稿が送られてきました。編集係としてはこの機に試験的な意味合いも含めて投稿原稿の掲載の場を設けてみました。今までは「投稿」であることを明示せずに掲載していたのですが、今後は「投稿」であることを明白にしたいと思います。より投稿し易いように、次号以降で投稿規程に類するものを一応示したいとは思いますが、それ以前でも、論文・解説・意見・案内・翻訳等核データに関することなら何でも結構ですから、どしどし投稿して下さい。お待ちしております。

(編集係 浅見哲夫 記)